

資源循環に係る先進的で優れた技術・システムの開発・取組を募集します！

近年、生物多様性の保全、気候変動問題への対応、そして循環経済への転換が急務であり、資源効率性の向上だけでなく、カーボンニュートラルの実現や循環経済への移行も視野に入れた高度な技術・新製品の開発、あるいは産官学の異業種間連携等による先進的な社会システムやビジネスモデルの構築が注目されています。

本事業（資源循環技術･システム表彰事業）では、資源･エネルギー使用の削減、廃棄物の発生･排出の抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）、再生資源の有効利用（リサイクル）等、資源循環の更なる普及、または循環型経済への移行に寄与する、先進的で高度な技術・製品開発、並びに社会システム・ビジネスモデルの構築等の事業や取組を行う事業者（企業、団体、NPO、大学発ベンチャー等を含む）を広く公募し、表彰いたします。

募 集 期 間：**毎年 2 ~ 4 月頃**
募集対象者：企業、事業団体、NPO、大学発ベンチャー 等（事業者の業種・業態は問いません）
募 集 内 容：裏面をご参照ください
主催：一般社団法人産業環境管理協会

詳細は右記ホームページをご覧ください ▶ **https://www.cjc.or.jp**

お問い合わせ先
（一社）産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター
〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目３番１号 幸ビルディング３階
E-mail：award3r@jemai.or.jp

資源循環技術・システム表彰 募集案内

本表彰は、資源・エネルギー使用の削減、廃棄物の発生・排出の抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）、再生資源の有効利用（リサイクル）等、資源循環の更なる普及、または循環経済への移行に寄与する、先進的で高度な技術・製品開発、並びに社会システム・ビジネスモデルの構築等の事業や取組を公募・表彰し、その奨励・普及を図ることで資源有効利用を推進し、環境負荷の削減や循環ビジネスの振興をもって持続可能な循環型社会の形成に貢献することを目的としています。

これまで、埋立削減のためのリサイクル推進や3R政策に則った技術・製品・社会システムを顕彰し、主に3R技術を普及促進してまいりましたが、最近では、生物多様性の保全、気候変動問題への対応、そして循環経済への転換が急務であり、資源効率性の向上だけでなく、カーボンニュートラルの実現や循環経済への移行も視野に入れた高度な技術・新製品の開発、あるいは産官学の異業種間連携等による先進的な社会システムやビジネスモデルの構築が注目されています。

応募対象となる技術・取組の事例

本表彰では、資源効率性の向上を含め、カーボンニュートラルの実現や循環型経済への移行も視野に入れた高度な技術・新製品の開発、あるいは産官学の異業種間連携等による先進的な社会システムやビジネスモデルも対象としています。

事例1 資源循環・循環型経済に資する先進的で高度な技術・製品の開発あるいは、社会システム・ビジネスモデルの構築等

事例2 製品設計の改良やビジネスモデルによる省エネ、省資源・廃棄物の削減、長寿命化等

事例3 産学官、複数企業、地域間、異業種等連携による事業化あるいは事業の高度化・効率化

事例4 資源循環による地方創生・地域の活性化、環境負荷削減に貢献する技術・取組

事例5 レアメタル・重要鉱物の回収、精錬、代替技術等の開発、資源循環に係る取組（実証段階でも可）

事例6 プラスチックの再生利用や代替素材等についての新技術（実証段階でも可）や長年継続して資源循環に貢献している取組

賞の種類（過年度実績を含む）

●経済産業大臣賞●経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞（旧 経済産業省産業技術環境局長賞）●一般社団法人産業環境管理協会会長賞●奨励賞（事業化3年未満）●コラボレーション賞●レアメタル新技術賞（旧 レアメタルリサイクル賞）●プラスチック新技術賞●プラスチック循環貢献賞



第 50 回表彰式の様子

応募後の流れ

産業環境管理協会のホームページ等で公開します。

応募いただいた案件は、書面審査および審査委員による厳正な審査を行います（審査期間中、事務局より追加のご質問や審査委員会でのプレゼンテーションをお願いする場合がございます）。

受賞案件につきましては、毎年10月頃に都内にて表彰式および発表会を執り行います。

▼過去の受賞者の概要は、
以下の URL からご覧いただけます。
https://www.cjc.or.jp/commend/tech-sys.html

皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。